

さざなみ No.9 (2012.10)

著者	滋賀医科大学附属図書館
発行年	2012-10-15
URL	http://hdl.handle.net/10422/1490

【男女共同参画関係資料の展示・貸出】

このたび附属図書館では、国立女性教育会館(NWEC : National Women's Education Center) 女性教育情報センターのご協力を得て、男女共同参画関係資料の貸出を受けることになりました。男女共同参画に関する様々な内容の図書100冊を次の期間、図書館内で展示します。

10月15日(月) ~ 12月7日(金)

貸出もします。この機会にぜひご利用ください。

附属図書館ウェブサイト <http://www.shiga-med.ac.jp/library/guest/nwec.html>

【国立女性教育会館】

(独)国立女性教育会館(所在地:埼玉県)は、わが国唯一の女性教育に関するナショナルセンターです。「研修」、「交流」、「調査研究」、「情報」の4つの機能をもって、男女共同参画社会の形成に向けた活動をしています。

このうち「情報」機能を担う女性教育情報センターは専門図書館として、男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する情報を収集・提供し、また各種データベースを作成、Web上で公開しています。

国立女性教育会館ウェブサイト: <http://www.nwec.jp/>

女性教育情報センター: <http://www.nwec.jp/jp/center/>



【図書リスト】

今回、貸出を受ける図書100冊の書名は次のとおりです。

1. 羞恥：女子専門学生が体験した看護・教育・保育・介護場面
2. ジェンダーの心理学ハンドブック
3. 20世紀まなざしの変容
4. 従軍看護婦と日本赤十字社：その歴史と従軍証言
5. 悲しみのダルフル：大量虐殺(ジェノサイド)の惨禍を生き延びた女性医師の記録
6. 「わたし」を生きる：女たちの肖像
7. ほどほどに豊かな社会
8. 「女子」の時代!
9. コミュニケーション・スタディーズ入門
10. 格差と多様性

11. ジェンダー経済格差：なぜ格差が生まれるのか、克服の手がかりはどこにあるのか
12. なぜ女性はケア労働をするのか：性別分業の再生産を超えて
13. 働く人々のキャリア発達と生きがい：看護師と会社員データによるモデル構築の試み
14. ひととはなぜ乳房を求めるのか：危機の時代のジェンダー表象
15. ジェンダー学への道案内
16. ジェンダー学の最前線
17. 女の子からの出発：ジェンダーの人間学
18. 性差とは何か：ジェンダー研究と生物学の対話
19. 男女共同参画統計データブック：日本の女性と男性：2012
20. 新・女性学への招待：変わる/変わらない女の一生
21. 子育て期にみる女性のライフコース選択の困難
22. 日本女性はどこにいるのか：イメージとアイデンティティの政治
23. 家族心理学への招待：今、日本の家族は？家族の未来は？
24. 重すぎる母無関心な父：「いい子」という名のアダルト・チルドレン
25. 私は私。母は母。：あなたを苦しめる母親から自由になる本
26. 子どもの無縁社会：ルポ
27. 保健体育のおさらい：性教育
28. 性同一性障害のエスノグラフィ：性現象の社会学
29. 支援に関わる人のために：性的虐待の被害にあった子ども：DVと子どもへの虐待
30. 「貧困」の社会学：労働者階級の状態
31. 高齢社会を生きる：老いる人/看取るシステム
32. 大災害と子どもの心：どう向き合い支えるか
33. 災害復興東日本大震災後の日本社会の在り方を問う：女性こそ主役に！
34. **ふだんのかかわりから始める子ども虐待防止&対応マニュアル**
35. ヒューマンサービスに関わる人のための子ども支援学
36. 子どもの最貧国・日本：学力・心身・社会におよぶ諸影響
37. 子どもを虐待死から守るために：妊婦健診・乳幼児健診未受診者から見えること
38. 小児科医が語る子育て支援の実際：支援者をサポートするために
39. タイ・ビルマ国境の難民診療所：女医シンシア・マウンの物語
40. ケアの社会学：当事者主権の福祉社会へ
41. ケアとサポートの社会学
42. 東邦大学「生命（いのち）の科学で未来をつなぐ女性研究者への継続的支援モデル」活動報告書：平成23年度
43. 東邦大学「生命（いのち）の科学で未来をつなぐ女性研究者への継続的支援モデル」活動報告書：平成22年度
44. 「保育とワークシェアによる女性医学研究者支援プロジェクト」報告書：文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業：平成20年度
45. 東京女子医科大学女性医師・研究者支援センター：研究発表会・交流会：厚生労働省成育医療研究「女性医療従事者の支援に関する研究」研究班：女性外科系医師のシンポジウム：抄録集



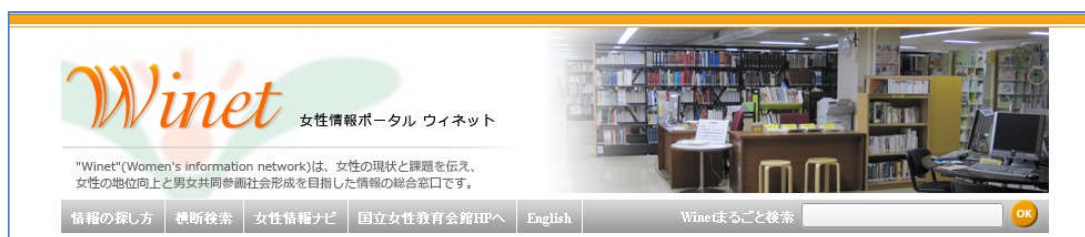
46. 男女共同参画推進局事業報告書：2009.4.1～2011.3.31
47. おしゃべり・雑談の政治哲学：近代化が禁じた女たちの話し合いと「講」
48. はじめて学ぶ生命倫理：「いのち」は誰が決めるのか
49. 命は誰のものか
50. モラルのある人は、そんなことはしない：科学の進歩と倫理のはざま
51. 日本の生命倫理：回顧と展望
52. 男女共同参画委員会報告書：女性医師の勤務支援についての日本医師会の取り組み：平成18・19年度
53. ピッツバーグ大学医学部教員日記
54. 生命倫理と医療倫理
55. 大切な人をどう看取るのか：終末期医療とグリーフケア
56. 女の老い・男の老い：性差医学の視点から探る
57. 暴力被害者と出会うあなたへ：DVと看護
58. いのちと向き合う看護と倫理：ケーススタディ：受精から終末期まで
59. 女性看護学：Women's health
60. シック・マザー：心を病んだ母親とその子どもたち
61. ビミョーな子どもたち：精神科思春期外来
62. 医療における子どもの人権
63. 医療従事者のための子ども虐待防止サポートブック：医療現場からの発信
64. 児童虐待へのアプローチ
65. 子どもの育ちをひらく：親と支援者ができる少しばかりのこと
66. 女性医療の会話分析
67. 不妊治療、やめました。：ふたり暮らしを決めた日
68. 不妊を語る：19人のライフストーリー
69. 子供のいない風景：最先端不妊治療に挑んで十年
70. 産科医療と生命倫理：よりよい意思決定と紛争予防のために
71. 生殖補助医療で生まれた子どもの出自を知る権利
72. やっぱ子どもがほしい！：産婦人科医の不妊治療体験記
73. 赤ちゃんを産む場所がない！？
74. 妊娠：あなたの妊娠と出生前検査の経験をおしえてください
75. とともに生きる：たとえ産声をあげなくとも
76. 現代の助産習俗 助産所出産
77. 訪問医が見た男の介護・女の介護：夫婦の老後は「語らい」が決める
78. 医療・看護スタッフのためのLGBTIサポートブック
79. 看取りの文化とケアの社会学
80. 富士見産婦人科病院事件：私たちの30年のたたかい
81. 院内助産院：佐野病院の成功の軌跡：助産師にしかできないケアがここにある。
82. 医療現場におけるDV被害者への対応ハンドブック：医師および医療関係者のために
83. 女性医師の働く環境改善のための提言：医療における男女共同参画社会の実現のために：2007年5月



84. 女性医師としての生き方：医師としてのキャリアと人生設計を模索して
85. 看護崩壊：病院から看護師が消えてゆく
86. 看護師の仕事につきたい！：命を救う看護のプロフェッショナル
87. 三重の看護史：昭和から平成への軌跡
88. 新卒看護職員の入職後早期離職防止対策報告書：2005年
89. ストップ！病医院の暴言・暴力対策ハンドブック：医療機関における安全で安心な医療環境づくりのために
90. 未妊：「産む」と決められない
91. 男性介護者100万人へのメッセージ：男性介護体験記：第3集
92. 家で病気を治した時代：昭和の家庭看護
93. 育児不安の国際比較
94. ビューティー・サロンの社会学：ジェンダー・文化・快楽
95. スポーツする身体とジェンダー
96. 少女小説から世界が見える：ペリーヌはなぜ英語が話せたか
97. 小説の恋愛感触
98. 私は戦犯なのか：従軍看護婦物語
99. オバサン論：オバの復権をめざして
100. 自負と偏見のイギリス文化：J・オースティンの世界

※34, 49, 54, 56, 59, 68, 80, 90, 100 の図書は附属図書館でも所蔵しています。

■ 学外のおすすめサイトその6 ■ Winet(ウィネット) 女性情報ポータル



Winet (Women's information network)は、国立女性教育会館が作成する、女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参加社会形成を目指した情報の総合窓口です。

国立女性教育会館の蔵書(約8万冊)、地方自治体等の発行した女性・家族に関する記事・論文、新聞記事の見出しが検索できるほか、国立女性教育会館でおこなった独自の調査等のデータベース(「女性関連施設」、「国立大学における男女共同参画状況」、「女性学・ジェンダー論関連科目」、「女性と男性に関する統計」、「男女共同参画人材情報」、「女性情報レファレンス事例集」)を検索できます。

次のURLからご利用ください。 <http://winet.nwec.jp/>